

# 令和8年度の主な環境施策について

# 目次

## 令和8年度の主な環境施策について

1. 脱炭素都市づくり	…	P. 2
2. 自然共生都市づくり	…	P. 19
3. 資源循環都市づくり	…	P. 23
4. 快適環境都市づくり	…	P. 31
5. 行動する人づくり	…	P. 35

### 凡例

**重** : プラン重点プロジェクトに該当する事業

**新** : 令和8年度新規事業

下線部 : 令和8年度拡充

# 1.脱炭素都市づくり

## 新 重 (1) 新築建築物への太陽光発電導入・高断熱化促進制度

令和9年度からの制度施行に向け、エンドユーザーである市民の理解を深めるため、制度内容や太陽光発電のメリットに加え、これまでに寄せられた懸念に答えるリーフレット等を作成し、周知啓発を行う。

また、制度の詳細を定めたガイドラインを作成し、対象事業者への説明を行う。



▲仙台市太陽光ポータルサイト



▲太陽光発電導入促進リーフレット

# 1.脱炭素都市づくり



脱炭素先行地域

## (2) 脱炭素先行地域づくり推進

定禅寺通エリア、泉パークタウンエリア、東部沿岸エリアの一部において、2030年度までに電気の使用に伴うCO2排出量を実質ゼロとする「脱炭素先行地域」の取り組みを推進する。

### ① 業務ビルの脱炭素リノベーション

- ・ 既存ビルの省エネ・ZEB改修を推進
- ・ セミナー等によるZEBの普及啓発

使いながらZEB改修工事中  
新たな社の都へ。

### ② 住宅の脱炭素リノベーション

- ・ 既存住宅への太陽光パネル・蓄電池等の導入推進
- ・ エネルギーマネジメント（DR/VPP）に関する取り組み推進

### ③ 東部沿岸エリアへの再エネ導入

- ・ 観光施設等の敷地や未利用地に太陽光パネル等の導入を促進

### ④ その他の取り組み

- ・ 定禅寺通周辺で行われるイベントのゼロカーボン化を促進
- ・ 市民の環境配慮行動の促進



# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (3) おうちのエコトク (家庭向け脱炭素支援事業)

家庭からの温室効果ガス排出量の削減に向け、高断熱住宅や省エネ・再エネ設備の普及に取り組むとともに、支援策をパッケージ化し、市民に分かりやすく発信する。



▲補助事業等を活用した住宅のイメージ図



### <パッケージ掲載事業>

- ① 太陽光発電等導入補助金 (新築戸建住宅向け)
- ② 太陽光発電等導入補助金 (新築共同住宅向け)
- ③ 太陽光発電等導入補助金 (既存戸建住宅向け)
- ④ せんだい健幸省エネ住宅補助金 (新築向け)
- ⑤ せんだい健幸省エネ住宅補助金 (全体改修向け)
- ⑥ せんだい健幸省エネ住宅補助金 (部分改修向け)
- ⑦ 省エネ空調・給湯転換補助金
- ⑧ 省エネ家電買い替えキャンペーン
- ⑨ 太陽光発電・蓄電池等の共同購入
- ⑩ V2H充放電設備設置費補助金

# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (3) おうちのエコトク (家庭向け脱炭素支援事業)

### 新 ①②③太陽光発電等導入補助金

令和9年度から施行する「新築住宅の太陽光発電導入・高断熱化促進制度」に先駆け、断熱基準を満たした新築住宅等への太陽光導入補助を実施する。

①太陽光発電等導入補助金 (新築戸建住宅)	太陽光	断熱	50万 (定額)	蓄電池	+10万 (定額)
②太陽光発電等導入補助金 (新築共同住宅)	太陽光	断熱	50万 (上限)	蓄電池	+10万 (定額)
③太陽光発電等導入補助金 (既戸建住宅)	太陽光	蓄電池	30万 (定額)		

※ 新築戸建住宅は太陽光発電を4kW以上導入した場合の補助額

導入量が2kW以上4kW未満の場合の補助額は30万円 (定額)

※ 新築共同住宅は7万円/kW (申請者が法人の場合は5万円/kW)

※ 既存戸建住宅は蓄電池導入が必須

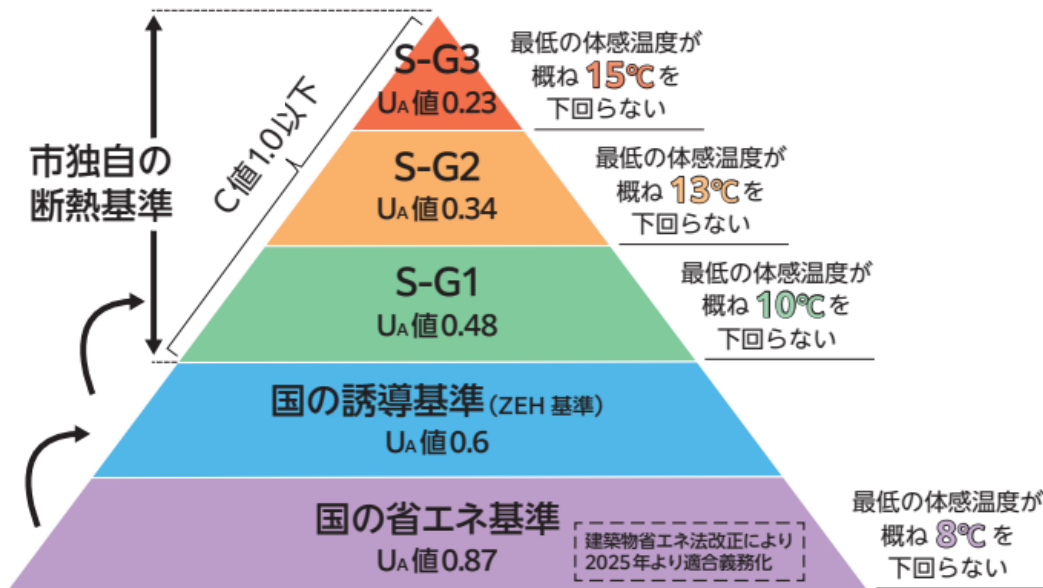
# 1.脱炭素都市づくり

重

## (3) おうちのエコトク (家庭向け脱炭素支援事業)

### ④ せんだい健幸省エネ住宅補助金 (新築向け)

高断熱住宅の普及に向け、本市独自の断熱基準を満たすZEH住宅の新築・購入に対する補助を行う。また、蓄電池を併せて導入した場合、上乘せで補助する。



仙台市

おうちの購入・新築をお考えの方に

せんだい“健幸”省エネ住宅補助金 新築向け

補助額

最大 260万円

蓄電池導入で +10万円

高断熱・高気密でエネルギー効率の高い『ZEH』住宅はメリットがいっぱい。補助金を使って、地球にも家計にも優しいおうちの快適な暮らしを始めませんか？

詳しくは裏面をご覧ください

夏涼しく冬あたたか  
年中すこしやすしい

省エネ・省コストで  
地球と家計にやさしい

エネルギー効率up

約110,000円削減!  
CO<sub>2</sub>削減効果 16%削減!

11年程度で回収可能!

▲国の基準と市独自の断熱基準

# 1.脱炭素都市づくり

重

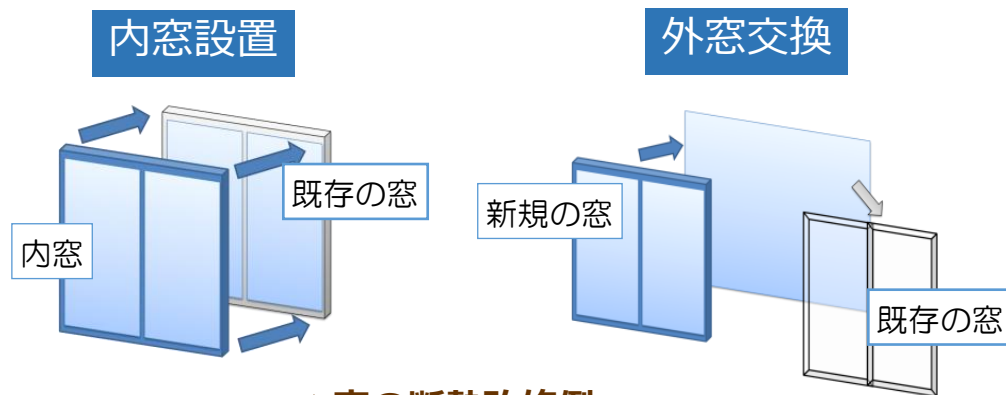
## (3) おうちのエコトク（家庭向け脱炭素支援事業）

### ⑤ せんだい健幸省エネ住宅補助金（全体改修向け）

全体改修により、本市独自の断熱基準を満たす住宅に対し、補助を行う。  
補助対象者は、個人所有者および中古物件をリノベーションして販売する事業者。

### ⑥ せんだい健幸省エネ住宅補助金（部分改修向け）

窓や床、壁、天井を断熱改修する住宅に対し、補助を行う。  
また、住宅の一部の断熱改修工事に併せて行った蛍光灯や白熱灯等からLED照明への交換工事に対し上乗せで補助。



▲ 窓の断熱改修例



# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (3) おうちのエコトク (家庭向け脱炭素支援事業)

### ⑦省エネ空調・給湯転換補助金

灯油を使用した暖房・給湯設備から寒冷地エアコンやエコキュート、エネファーム等電気やガスによる省エネ設備への切換えに対する補助を実施する。



▲エネファーム

### ⑧省エネ家電買い替えキャンペーン

古い家電を省エネ性能の高い家電へ買い替えた方に、抽選で温泉宿泊券等の景品が当たるキャンペーンを実施。

対象家電は、家庭における電気使用量の割合が高い冷蔵庫及びエアコンとし、買い替えを促進する。

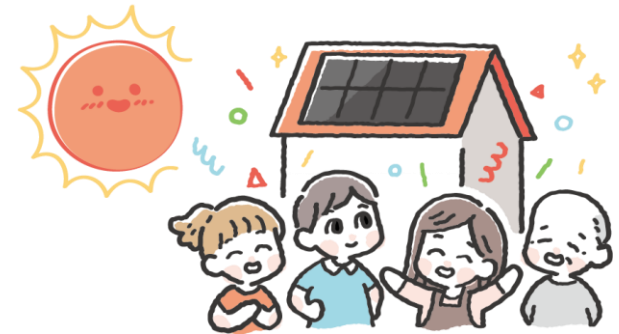


# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (3) おうちのエコトク (家庭向け脱炭素支援事業)

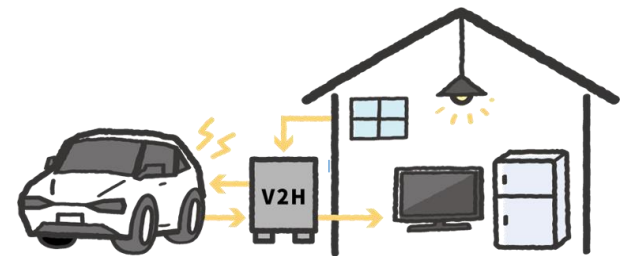
### ⑨ 太陽光発電・蓄電池等の共同購入

太陽光パネル等の購入希望者を募り、スケールメリットを活かして、市民が安心して市場価格より安価で導入できる取り組みを実施する。



### ⑩ V2H 充放電設備設置費補助金

平時における温室効果ガス排出削減と災害時のエネルギー途絶リスクに備えるため、電気自動車等への充電と、電気自動車等から住宅に電力を供給できる「V2H」の導入に補助を行う。



# 1.脱炭素都市づくり

## 重(4) 高断熱住宅の普及促進

高断熱住宅の普及に向け、令和5年度に設立した官民連携による「仙台市高断熱住宅普及促進協議会」において、市民向けの普及啓発や、地元工務店等の実務者の育成に取り組む。

## 新重(5) 「(仮称) せんだいゼロカーボン市民会議2026」の開催

新築建築物への太陽光発電導入等促進制度の施行を見据え、再エネ等に対する市民の理解促進を図るため、無作為で抽出した市民を対象に、「おうちでできる上手なエネルギーの使い方(予定)」をテーマに、市民自らの視点で考えるワークショップを開催する。



▲令和5年度「せんだいゼロカーボン市民会議」の様子



▲「せんだいゼロカーボン市民会議」の成果を活用して令和7年度に実施した「せんだいゼロカーボンなぞとき」

# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (6) ビジネスをエコUP (事業者向け脱炭素支援事業)

事業者の脱炭素経営を後押しするため、本市の事業者向け施策をパッケージ化し、分かりやすく発信する。



### ＜パッケージ掲載事業＞

- ① 温室効果ガス削減アクションプログラム
- ② 温室効果ガス削減設備導入支援補助金
- ③ 事業所用太陽光発電システム導入支援補助金
- ④ 運送事業用次世代自動車導入支援補助金
- ⑤ 事業所用クリーンエネルギー自動車等導入支援補助金
- ⑥ 事業所断熱改修促進補助金



▲ビジネスをエコUP HP

# 1.脱炭素都市づくり



## 重 (6) ビジネスをエコUP (事業者向け脱炭素支援事業)

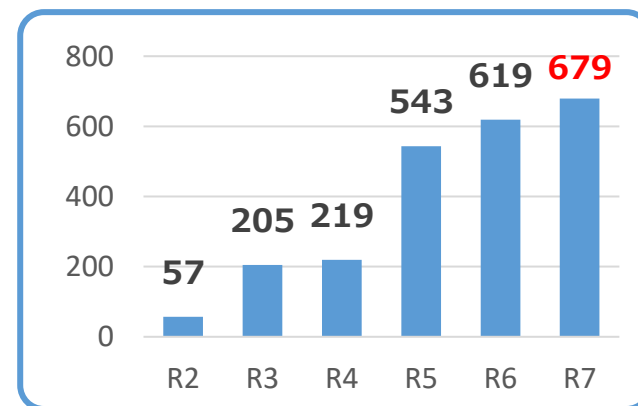
▲アクションプログラムHP

### ①温室効果ガス削減アクションプログラム

- 事業活動における温室効果ガス排出削減をより一層進めるため、事業者と市が協働して計画的な温室効果ガス排出削減を図る。
- 令和8年度は、第二計画期間（令和5年度～令和7年度）における参加事業者の取り組みについて評価・表彰を行う。



▲アクションプログラムのイメージ図



▲一般事業者の参加事業所数

参加事業者による 温室効果ガス排出削減量※	令和6年度（速報値）	目標（令和12年度）
	13.4万t-CO <sub>2</sub>	44万t-CO <sub>2</sub>

※基準年度：令和元年度

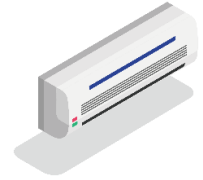
# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (6) ビジネスをエコUP (事業者向け脱炭素支援事業)

温室効果ガス削減アクションプログラムへの幅広い参加を促すため、中小企業者等への省エネ設備等補助を拡充して行う。

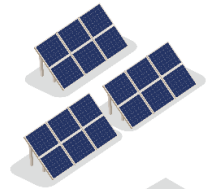
### ② 温室効果ガス削減設備導入支援補助金

LED照明や高効率空調等の導入に対して補助を行う  
(LED照明の補助率を1/5→1/3に拡充)



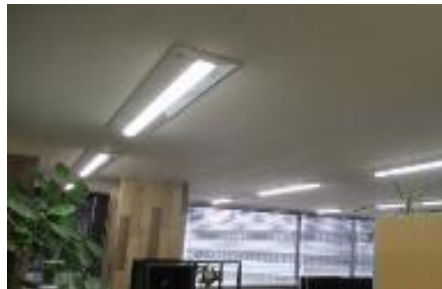
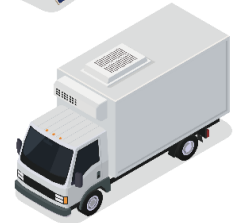
### ③ 事業所用太陽光発電システム導入支援補助金

自家消費型太陽光発電設備に加え、蓄電池を補助対象に追加



### ④ 運送事業用次世代自動車導入支援補助金

運送事業者による次世代自動車の導入に対して補助を行う  
(電気バスへの改造も補助対象に追加)



▲省エネ設備 (LED照明)



▲太陽光発電設備



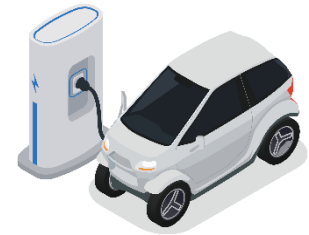
▲次世代自動車

# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (6) ビジネスをエコUP (事業者向け脱炭素支援事業)

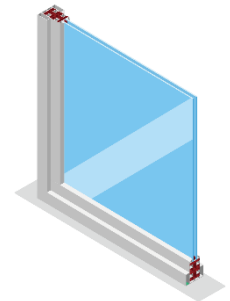
### ⑤ 事業所用クリーンエネルギー等自動車導入支援補助金

運送事業者以外の中小企業者等による電気自動車等の導入に対して補助を行う (充放電設備を補助対象に追加)

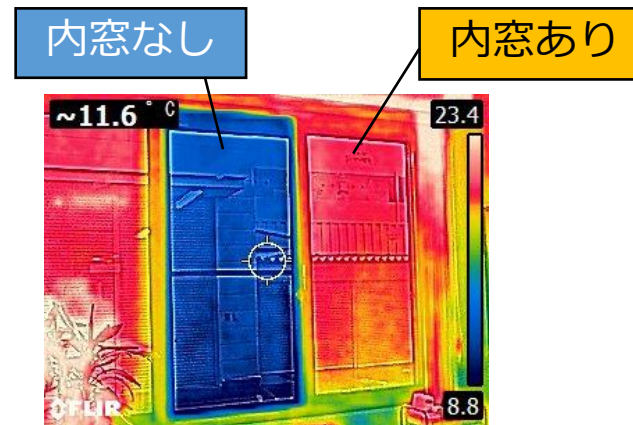


### ⑥ 事業所断熱改修促進補助金

事業所の断熱化を促進するため、窓断熱改修に対する補助を行う



▲電気自動車の導入事例



▲窓断熱の導入事例  
(冬の執務室内)

# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (7) 事業者向け脱炭素ワークショップ等の開催

- 事業者による脱炭素化の底上げを図るため、主に中小企業者を対象に、脱炭素の取り組みの必要性やメリット、温室効果ガス排出量の算定方法等について分かりやすく学べるワークショップを、関係機関と連携して実施する。
- できるだけ多くの中小企業者に参加いただけるよう、オンラインを含むセミナー形式も実施する。



▲ 脱炭素経営の必要性や  
メリットに関する講義



▲ 自社の温室効果ガス排出量  
算定シミュレーション



▲ 自社の脱炭素に関する  
取組の共有

# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (8) 公共施設脱炭素化推進

### ・公共施設ZEB化方針

「仙台市公共施設 ZEB化方針」(令和7年度策定)に基づき、  
公共施設の新築や大規模改修時にZEB化を推進する



▲仙台市公共施設  
ZEB化方針  
(R8.1.30策定)

### ・太陽光発電の導入推進

市の率先行動として、公共施設における太陽光発電設備の導入を推進する

#### 【令和7年度導入施設】

施設名	導入容量
仙台市若林区文化センター	80.96kW
仙台市立遠見塚小学校	75.44kW
石積埋立処分場	435.6kW
仙台市黒松市民センター	46.48kW



▲仙台市若林区文化センター

#### 【令和8年度導入予定施設】

- ・若林消防署
- ・太白消防署八木山出張所
- ・新田東総合運動場
- ・宮城消防署
- ・宮城野消防署岩切出張所
- ・沖野市民センター

# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (9) 防災対応型太陽光発電システム整備

指定避難所等に導入した防災対応型太陽光発電システムについて適切に運用するとともに、民間企業と連携し、一元的な遠隔監視・制御を行う。



▲ 防災対応型太陽光発電システム

## (10) 電動車等の導入推進

公用車の更新の際、走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車・燃料電池自動車・プラグインハイブリッド自動車などの電動車等の導入を推進する。

公用車の電気自動車などについては啓発用のラッピングを行い、電動車等の普及を図る。

令和8年度は電気自動車・プラグインハイブリッド自動車を計15台導入する。



▲ 電気自動車

# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (11) せんだいE-Action

市民・企業・行政が協働で、それぞれの強みを活かしながら3E（省エネ・創エネ・蓄エネ）を推進する。

### ・対面型イベントにおける啓発

E-Action参加団体と連携して大型イベント等へ出展するなど、対面型の3E啓発を行う。

### ・啓発動画や取り組みヒントの配信

脱炭素に関する豆知識や無理せず取り組める省エネ行動などを動画や記事で紹介し、幅広い層への3E行動の浸透を図る。

### ・緑のカーテンの推進

市民への種子配布や小学校と連携した「緑のカーテン」の実践を通じ、身近で快適な環境行動の啓発を行う。



▲イベント出展



▲啓発記事

# 2.自然共生都市づくり

## 重 (1) ネイチャーポジティブ※1推進事業

### ・ 社の都ネイチャーポジティブセンター※2

多様な主体の協働による社の都仙台のネイチャーポジティブ実現、生態系サービスの継続的享受、地域課題の解決、先進事例の発信や水平展開による生物多様性保全の取り組み促進に貢献することを目指す。

マッチングイベントや各種セミナーの開催、ワーキンググループの伴走支援などを通じて、「知識/資金/人材」のローカルネットワーク形成、知識等の普及、事業者の参加促進、人材の育成を行う。

※1 ネイチャーポジティブ  
自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること。

※2 社の都ネイチャーポジティブセンター  
地域生物多様性増進法第28条に基づく地域生物多様性増進活動支援センターに位置付け



▲ 会員募集チラシ (左) とネイチャーポジティブフォーラムチラシ (右)



▲ 社の都ネイチャーポジティブフォーラム (令和8年1月22日 実施)

## 2.自然共生都市づくり

### 重 (1) ネイチャーポジティブ推進事業

【認定を取得した令和7年度認定申請支援事業対象地】

- ・「増進活動実施計画※1」認定取得促進
- ・自然共生サイト普及啓発

市内8か所の「自然共生サイト※2」認定取得で得られた知見を活かしながら、多様な主体による「増進活動実施計画」認定取得を促進するための取り組みを行う。

令和8年度は、これまで実施してきたSNSでの発信に加え、増進活動実施団体に対して認定取得地でのイベント実施を委託し、制度や保全活動の周知等を図る。

#### ※1 増進活動実施計画

令和7年4月に法制化された地域生物多様性増進法に基づき、生物多様性の維持・回復・創出を行う活動として主務大臣が認定した計画。

#### ※2 自然共生サイト

認定された増進活動の実施区域。



▲令和7年度第3回認定：仙台三高 時習の森



▲令和7年度第3回認定：水の森公園の一部

## 2.自然共生都市づくり

### 重 (1) ネイチャーポジティブ推進事業

身近な自然や生きものと直接触れ合い、その魅力や大切さについて学ぶ機会の充実や、生きものへの関心を深める情報発信を図る。

#### ・生きもの観察会などの開催

市街地近隣の清流に棲むカジカガエルなど仙台ゆかりの生きもの、公園など身近な自然の生きもの、東部沿岸地域ビオトープたんぼの稲作など他分野と組み合わせた生きもの生息環境の再生等、多様な切り口での観察会を実施する。

#### ・WebやSNSを活用した情報発信

仙台に生息・生育する生きものの魅力を発信する動画や記事の配信、音源ダウンロードや生息地マップの掲載などを実施する。



▲春の生きもの観察会・押花ワークショップ



▲東部沿岸地域における生きもの観察会

## 2.自然共生都市づくり

### (2) 野生鳥獣対策

#### ・市民への啓発

本市ホームページや仙台市AIチャットボットなどで野生鳥獣への対応策等をお知らせしているほか、特にクマについては、パネル展示や啓発動画の配信、出没情報マップ、クマ対策講座の開催等により啓発を実施。サル、イノシシについてもチラシ等による啓発を行う。



▲クマ啓発動画

#### ・ツキノワグマ対策

クマの出没状況に応じて、地域住民への注意喚起やメール・LINE配信、専門業者による現地調査、防除対策の助言等を行う。また、誘引木の伐採、藪の刈払いによる見通しの確保、電気柵の設置等の出没抑制対策、クマが市街地に留まる場合の捕獲体制強化などをツキノワグマ被害防止対策パッケージとして全庁連携により推進する。

#### ・ニホンザル対策

群れの行動範囲等を把握する調査を行い、効果的な追い上げ・捕獲を実施する。

#### ・イノシシ対策

県民の森周辺における市管理地への柵の設置を継続するほか、民有地への柵設置補助制度を実施する。

# 3.資源循環都市づくり

## 重 (1) プラスチック資源循環の推進

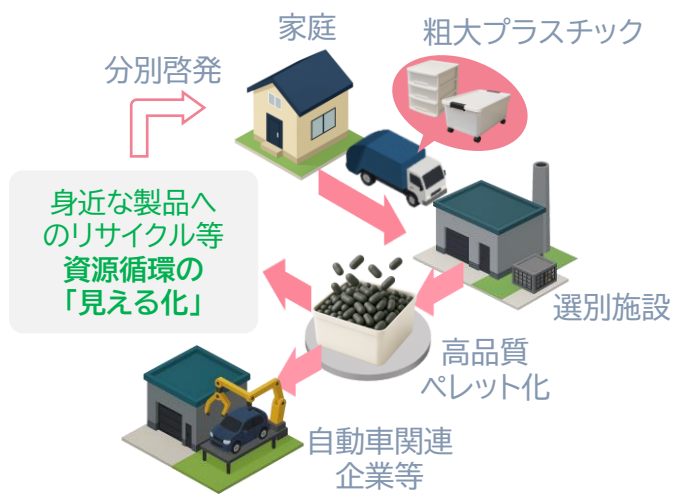
### ・製品プラスチック一括回収・リサイクル

他の政令市に先駆け、令和5年4月から実施しているプラスチック製容器包装及び製品プラスチックの一括回収・リサイクルについて、令和8年4月を始期とする3か年の再商品化計画に基づき着実に進める。



## 新 ・粗大プラスチックのリサイクル実証

国家戦略として位置付けられた循環経済への移行の推進に向け、現在、粗大ごみとして処理している大型のプラスチック製品（粗大プラスチック）について、将来的な再商品化計画への組み入れ等を目指し、リサイクルの実施に向けた実証事業を行う。



▲粗大プラスチックリサイクルのイメージ

# 3.資源循環都市づくり

## 重 (2) 家庭ごみ・プラスチック資源収集運搬DX事業

生活ごみ収集運搬作業の効率化や付随する事務作業の自動化等を目的に令和7年度に実施した「家庭ごみ・プラスチック資源収集運搬ルート最適化実証事業」について、本格運用を開始し、市民生活のインフラであるごみ収集運搬の持続可能性を高める。

併せて、津波警報等発令時の対応ツールを導入を検討し、収集作業員の安全確保を行うこと等により、災害対応力の向上を目指す。



▲タブレット車載の様子



▲システムと津波避難エリアなどの防災情報との連携を図る

# 3.資源循環都市づくり

## 重 (3) 食品ロス削減の推進

### ・ 家庭での食品ロスの削減

せんだい食エコリーダーによる市民向けの実践講座や、食べ残しが多いとされる子育て世帯のうち未就学児の保護者グループを対象にした出前講座を継続して開催するとともに、せんだい食エコリーダー養成講座を実施し、新たな人材育成に取り組む。

### ・ フードドライブの実施

家庭の未利用食品を集めてフードバンク団体等に提供するフードドライブについて、市内29か所に回収拠点を設置し、民間企業・団体の協力を得ながら食品の運搬を行うとともに、民間企業等が行うフードドライブ活動を支援する。

### ・ フードバンク活動への支援

本市が実施するフードドライブ事業に協力するなど食品ロスの削減に積極的に取り組み、かつ、食料の確保に困難を抱えた生活困窮者等に食料提供を行う団体の活動を助成する。



▲せんだい食エコリーダーによる講座



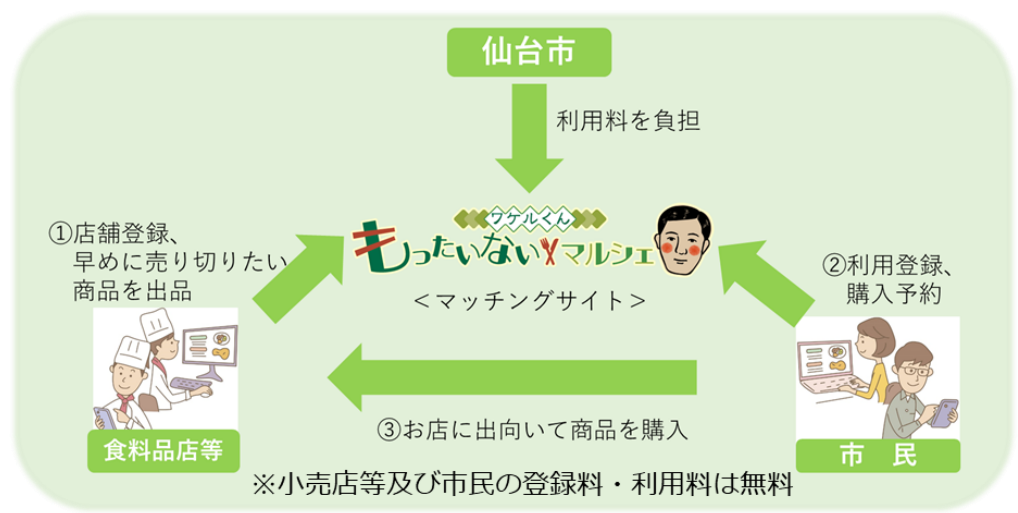
▲商業施設に設置した未利用食品回収箱

# 3.資源循環都市づくり

## 重 (4) 食品ロス削減の推進

### ・小売店等での食品ロスの削減

小売店等から生じる消費期限間近の食品等を消費者に割り引いて提供するマッチングサービスを運用する。



▲事業イメージ



▲事業紹介HP

### ・飲食店等での食品ロスの削減

3010運動など食べきりを推奨するキャンペーンを実施するとともに、飲食関連事業者と連携した食べ残しの持ち帰りを促進するキャンペーンを展開し、食品ロス削減に向けた啓発を行う。

# 3.資源循環都市づくり

## 重 (5) 資源物の分別排出促進

### ・リチウムイオン電池分別排出促進

家庭ごみやプラスチック資源に混入すると火災リスクが生じるリチウムイオン電池について、分別排出を呼びかける集積所用ポスターを作成・掲出し、周知を図るとともに、SNSを活用した企画を実施し、若年層への周知を強化する。

### ・雑がみ分別排出促進

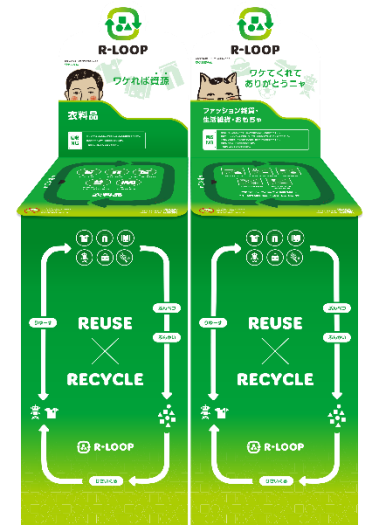
家庭ごみへの混入が多い雑がみの分別徹底を図るため、市民向けワークショップや古紙回収事業者等と連携した見学ツアーを開催するほか、イベントや出前講座等において古紙再生グッズの配布と分別の呼びかけを行い、分別の理解促進と資源としての利活用に関する意識醸成を図る。

### ・布類の分別排出促進

区役所や市民センター等に設置している資源回収庫や、リユース品回収ボックス「R-LOOP」の増設及び周知強化に取り組み、資源物を出しやすい環境づくりを進める。



▲分別排出促進ポスター「イエローに入レヨー！」



▲R-LOOP回収ボックス

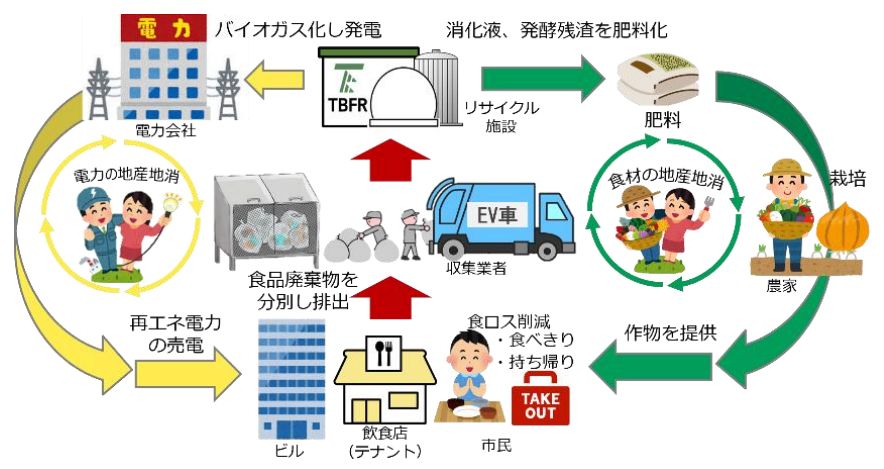
# 3.資源循環都市づくり

## 重 (6) 定禅寺通等食品リサイクル推進モデル事業

飲食店における食品リサイクルを推進するため、モデル事業を実施し、中小規模の飲食店が食品リサイクルに取り組む場合の課題の改善方法等について検証を行う。

なお、このモデル事業は脱炭素先行地域に係る定禅寺通エリアの取り組みの1つとして実施するものである。

対象エリア：定禅寺通沿い及び国分町2丁目他  
期 間：令和8年4月から令和9年3月まで



▲事業イメージ



▲事業紹介HP

# 3.資源循環都市づくり

## 重 (7) 3Rに主体的に取り組む担い手育成

「ワケルネット」のほか、仙台市公式LINE、AIチャットボットなどで、分別方法や排出ルールについてきめ細やかな情報発信に努める。

また、環境教育の推進に向け、町内会等を対象として、ワケルくんバスによる環境施設見学会を開催するとともに、クリーン仙台推進員制度の運用により、地域におけるごみ減量・リサイクルの担い手を育成する。



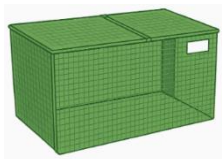
▲ワケルネット



▲ワケルくんバスによる環境施設見学会

## 新 (8) ごみ集積所管理備品に対する補助事業

ごみ集積所を清潔で使いやすく保つため、「折り畳み式ごみボックス」「ハンサムネット」「固定式ごみボックス」の購入等にかかる費用の一部を補助する。



▲折り畳み式ごみボックス



▲ハンサムネット



▲固定式ごみボックス

# 3.資源循環都市づくり

## (9) 安全安心で安定的な処理体制の確保

### ・ 適切なおみ処理体制の確保

ごみの収集効率や災害等のリスク分散に適した現在の3清掃工場の配置を生かして安定したごみ処理を継続して実施する。

### ・ 基幹的設備改良工事

既存の清掃工場の機能を維持・向上しつつ延命化を図るために、平成26～28年度に葛岡工場、平成29～令和2年度に今泉工場、令和3～7年度に松森工場において基幹的設備改良工事を実施。



**性能の回復・向上**

- 老朽化した設備の補修や更新
- 最新技術の導入

**ライフサイクルコストの低減**

- 建て替え周期の長期化

**使用電力の削減**

- 高効率、省エネ型機器の採用による電力の削減



**安定したごみ処理体制の確保**

## (10) 今泉工場建替事業

令和14年度の稼働開始に向けて、**今泉工場建替事業の入札公告準備**を進める。

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
基本構想・計画	■									
入札公告～契約		■								
新今泉工場建設					■					
新今泉工場稼働										■

## 4. 快適環境都市づくり

### (1) 快適な生活環境の保全

#### ・事業者に対する規制指導

大気・水・土壌や騒音・振動に係る関係法令に基づく規制指導により、公害被害の未然防止に努めるとともに、環境負荷の低減を図る。

#### ・環境基準達成状況把握のための調査

環境基準達成状況や環境の実態を把握するため、大気測定局におけるPM2.5モニタリング、自動車交通騒音の調査、河川・海域・地下水等の水質及び底質に関する調査、地盤収縮量に関する調査等を、定期的に市内全域で実施する。

調査結果については、本市ホームページや冊子を通じて、広く市民に公表する。

#### ・有害化学物質への対応

関係法令に基づく規制や調査のほか、現状で施策が確立されていない未規制物質の調査や、災害・事故発生時の迅速な事業場聴取による被害の最小化に取り組む。

また、仙台港周辺環境調査など、地域的な環境汚染のおそれがあるものについて、安全確認を継続して実施する。



▲移動測定車による大気調査

# 4. 快適環境都市づくり

## (1) 快適な生活環境の保全

### ・ 大気環境情報の提供

市内の大気環境情報については、本市ホームページでのリアルタイムな提供に加え、各区役所・総合支所に設置したディスプレイでも提供する。



# 4. 快適環境都市づくり

## (2) 開発事業における環境配慮の促進

### ・ 仙台市太陽光発電事業の健全かつ適正な導入、運用等の促進に関する条例

発電出力20kW以上の地上に設置する太陽光発電施設について、施設設置前の手続きや設置後の維持管理、廃止に至るまでの様々な義務を定め、地域と共生する太陽光発電事業の普及促進を図ることを目的に、令和5年度に制定。



▲太陽光発電施設（地上設置）

令和8年度は、設置規制区域の拡充や事業者責任の明確化等を柱とする条例改正を迅速に進めるとともに、業務委託による対象施設の現地確認などの維持管理の徹底に向けた取り組みを推進し、更なる事業の適正化を図る。



▲条例HP及び条例パンフレット

### ・ 杜の都・仙台の豊かな森林を未来へつなぐための太陽光発電事業の立地に係る指導方針

森林地域における面積1haまたは400kW以上の太陽光発電事業の立地について自粛を強く求める指導方針を、令和7年9月から施行。

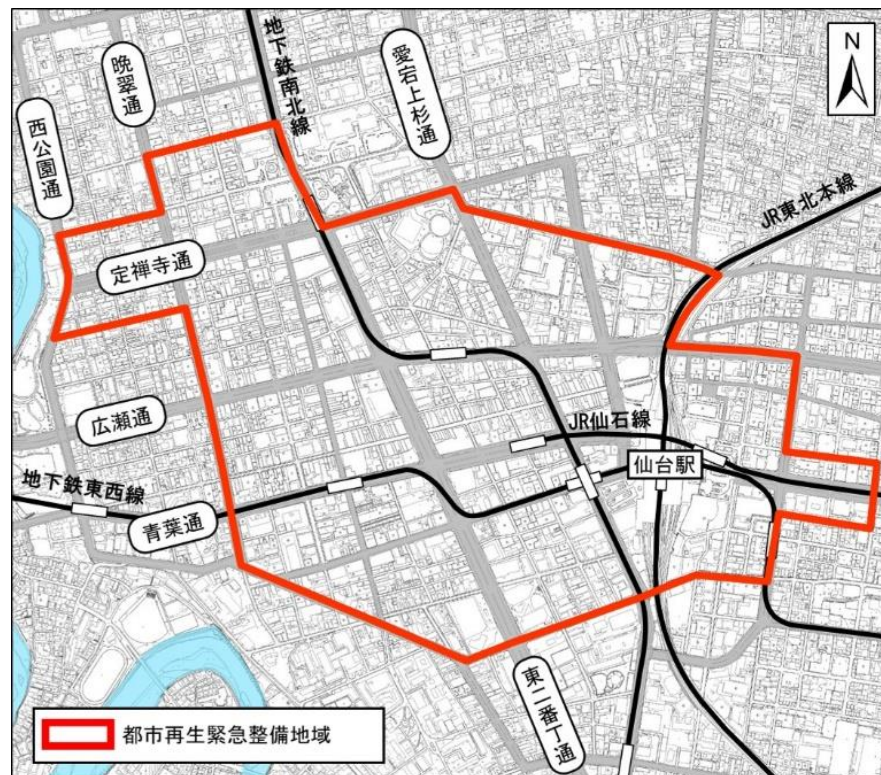
# 4. 快適環境都市づくり

## (2) 開発事業における環境配慮の促進

### 重 ・ グリーンビルディングの整備を促進するための方針

都市再生緊急整備地域における環境配慮型の建築物の整備を促進し、都心部における環境にやさしい魅力的な都市空間を創出。

「グリーンビルディングの整備を促進するための方針」の対象地域  
(都市再生緊急整備地域) ▶



# 5.行動する人づくり

## 重 (1) 「杜の都スタイル」の普及拡大

仙台らしい、環境にやさしい行動や自然に親しむこと「杜の都スタイル」の普及拡大に向けた各種PR事業を推進する。

### ・ Web、SNS（インスタグラム）を活用した情報発信

「せんだい環境Webサイトたまきさん」や「環境局公式インスタグラム」により、各分野における本市の取り組みや行動を促すイベント、キャンペーン情報等を発信する。

また、インスタグラムでは「エコで仙台らしい暮らし」の写真や動画の投稿を募集するコンテストを実施することで、環境にやさしい取り組みの発掘・発信を図る。

### ・ 「杜の都スタイル」 広告掲出等

新市役所本庁舎工事に係る仮囲いへの大型のマグネット広告の掲出などにより、「杜の都スタイル」という言葉そのものの認知度向上を図るとともに、市民の行動変容を促す。



▲令和7年度Instagramコンテスト募集



▲市役所本庁舎仮囲いへのマグネット広告掲出

## 5.行動する人づくり

### 重 (2) 環境に関する学びの場の創出（たまきさんサロン）

「せんだい環境学習館たまきさんサロン」を拠点として、環境に関する情報の受発信や交流を促進する。

#### ・サロン講座

大学やNPO等から講師を招き、自然科学や民俗学など幅広い分野と環境の関わりを学べる講座を開催する。

#### ・環境学習図書や環境学習教材の提供

児童向けを含む環境関連書籍や雑誌等の貸し出し、また環境学習教材の展示を行う。

#### ・市民主体の環境行動や交流の促進

環境に関する勉強会やセミナー会場としてスペースを貸し出し、市民団体等による環境行動や交流を促進する。



▲サロン講座



▲図書の提供

## 5.行動する人づくり

### 重(3) 多様な主体と連携した人材の育成

「杜の都の市民環境教育・学習推進会議（FEEL Sendai）」など、市民・NPO・学校・事業者・行政等の連携により、環境教育・学習を推進する。

#### ・学校や保育所等における環境学習

仙台の特色ある自然環境等を素材に、環境NPO等による、学校や保育所等を対象とした環境学習プログラムを実施する。（杜々かんきょうレスキュー隊）

#### ・環境絵画・ポスターコンクール

環境への関心を高めるため、小中学生を対象に、環境の観点から表現された絵画・ポスターを募集するコンクールを実施する。

#### ・若い世代を対象とした環境学習

様々な分野の外部講師による講義や活動実践体験等により、環境に関する学びとキャリアアップを図る。（せんだい環境ユースカレッジ）

#### ・環境を考えるきっかけと交流の場の創出

環境フォーラムせんだいや各種イベントへの出展を通じ、参加した市民が環境配慮の大切さに気付き行動するきっかけを提供。



▲せんだい環境ユースカレッジの環境学習

## 5.行動する人づくり

### 重 (4) 学都の強みを活かした人づくり

#### ・ せんだい環境学習講座

大学（東北大学、宮城教育大学、東北工業大学、宮城学院女子大学、東北文化学園大学）や環境関連団体が出向いて提供する講座の情報を集約し、学校や地域の方々へ情報発信と受講支援を行うことで、環境に関する専門的な知識や技能に触れる学びのネットワークを形成。

#### ・ 東北大学大学院環境科学研究科との連携

東北大学大学院環境科学研究科と平成21年11月に締結した連携協定について、令和3年3月に見直しを行い、協力体制を強化。たまきさんサロンの開設や、本市職員による大学院での講義のほか、本市職員を対象とした研究活動説明会の実施など、脱炭素や資源循環分野の事業推進に連携して取り組んでいる。



▲せんだい環境学習講座を利用した環境学習の様子



▲連携協定に基づく学生への講義（松森工場見学）の様子